

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福岡県立武蔵台高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒818-0053

福岡県筑紫野市天拝坂5丁目2番地1

E-mail info@musashidai.fku.ed.jp

Website http://musashidai.fku.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 589 名 女子 595 名 合計 1184 名

幼児・児童・生徒の年齢 16 歳～ 18 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校では、「地域歴史文化理解と異文化理解」を活動テーマとして、ESDを「地域や世界の人々が抱える問題や生き方を知り、自ら解決策を考え、自分ができることを積極的に行動に移すという3つの資質を身につける活動」と捉え、ESDの実践を通して未来に生きる想像力豊かな人間性の育成を目標とした。具体的には、地域歴史文化理解、異文化理解を柱に、①天拝山登山、②ユネスコスクール講演会、③海外派遣研修、④地域歴史文化教育事業、⑤天拝小学校との交流事業、⑥九州国立博物館ジュニア学芸員派遣、⑦ユニクロ主催「服のチカラプロジェクト」への参加、⑧ユネスコ協会連盟「世界寺子屋運動」への参加、⑨第9回ユネスコスクール全国大会 持続可能な開発のための教育(ESD)研究大会への参加、⑩海外修学旅行実施、⑪ユネスコスクール国際交流事業といった活動・学習を行った。

① 天拝山登山 (4月1回、6月1回、10月1回、12月1回 計4回実施)

10月は天拝小学校(5、6年生)と合同登山

天拝山は標高258m、照葉樹林に覆われた自然豊かな地域の里山である。また、地域の歴史・文化に関わりの深い「菅原道真」公ゆかりの山である。定期的に継続実施することで、心身を鍛錬するとともに、地域の歴史文化と四季の自然の美しさに親しむことを目的としている。

② ユネスコスクール講演会（6月、11月、3月 計3回実施）

本校では、ユネスコスクールに加盟して以降、各学期に1回の計3回のユネスコスクール講演会を実施している。国際理解、地域歴史文化理解、ユネスコ活動理解の3テーマで構成され、識者による校内講演会を開催することでユネスコスクール活動に対する生徒および職員の理解を深めることを目的としている。

第22回 演題：「天拝山と菅原道真公について」

講師：筑紫野市大門自治会長・区長 木村 誠一 氏

第23回 演題：「武蔵台生に期待すること」

講師：日本環境コンサルタント（株）副社長・本校第13代校長
福永 好典 氏

第24回 演題：「異文化」を捉える目

～「メディア」と「記録」と「記憶」から～

講師：東京国際大学副学長兼国際関係学部長 教授 小室 広佐子 氏

③ 海外派遣研修（8月）

期日：平成29年7月29日（土）～8月7日（月）（10日間）

参加生徒数：6名 1年生4名（男子1名、女子3名）、2年生2名（女子2名）

引率者：1名

夏季休業中に海外ホームステイ研修を実施した。ホームステイや現地高等学校における同世代の若者との交流を通して現地の社会と文化の理解を深めるとともに、自国の文化を再認識することを目的としている。

今年度はオーストラリアの西オーストラリア州パース近郊を研修地とした。

④ 地域歴史文化教育事業（11月）

地域の歴史文化に対する理解を涵養することと郷土を愛する心を養うことを目的にフィールドツアーを実施した。第1学年は古代から宰都として地域の歴史と文化の中心地であった太宰府周辺で、第2学年は「ユネスコ世界遺産」への登録がなされた「宗像・沖ノ島関連遺産群」についてそれぞれ現地見学を行った。

第1学年

期日：平成29年11月7日（火）

場所：太宰府市（太宰府政庁跡、太宰府展示館、戒壇院、観世音寺、太宰府天満宮、九州国立博物館）

第2学年

期日：平成29年11月7日（火）

場所：宗像市・福津市（宗像大社、宗像大社神宝館、海の道むなかた館、新原・奴山古墳群）

⑤ 天拝小学校との交流事業、

4月、9月、2月 合同挨拶運動

10月 合同天拝山登山

7月 サマースクール

⑥ 九州国立博物館ジュニア学芸員派遣

2～3月（計4回）1年生（1名）、2年生（1名）

- ⑦ユニクロ主催「服のチカラプロジェクト」への参加
1、2年生のユネスコ委員40名参加
1学期のユネスコ委員会のメイン活動として、全校生徒および保護者に古着の回収を呼びかけるポスターを制作し、6月2日の天桜祭（文化祭）、夏季休業中の三者面談期間に回収活動を行った。
- ⑧ユネスコ協会連盟「ユネスコ世界寺子屋運動」への参加
1、2年生のユネスコ委員40名参加
2学期のユネスコ委員会のメイン活動として1、2年生のユネスコ委員を対象とし寺子屋リーフレットの作成を行った。2学期末に全校生徒および保護者を対象として校内寺子屋リーフレット・コンテストを実施し、得票数の高かった2作品を寺子屋リーフレット・コンテストへ応募した。
- ⑨第9回ユネスコスクール全国大会 持続可能な開発のための教育（ESD）研究大会への参加
教員2名が参加
- ⑩海外修学旅行実施
平成30年1月27日～1月31日、研修先：シンガポール、マレーシア
参加人数 2年生 127名
- ⑪ユネスコスクール国際交流事業
平成30年3月3日
参加人数 1年生 397名
福岡国際コミュニケーション専門学校より留学生20名が来校した。本校の1年生との授業体験、交流会などを実施した。



①天拝山登山



④地域歴史文化教育事業



⑤天拝小学校との交流事業



⑦服のチカラプロジェクトへの参加

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 委員会活動)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

・天拝山～継続は力なり～（福岡県立武蔵台高等学校同窓会「藤桜会」発行）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、総合的な学習の時間や放課後の時間を利用して、ユネスコスクールの活動に取り組んでいる。「地域歴史文化理解と異文化理解」のテーマのもと、地域との共生、地域の歴史や文化の学習、異文化理解を指導の目標とし年間の活動計画を作成している。作成した年間活動計画は年度初めに必ず全職員に配付し、指導内容の共通理解を図っている。そして、活動目的を明確化し、学習効果を高めるために、各活動において入念な事前指導を実施している。また、活動後にはレポートの提出やアンケートの実施を通して事後指導を行うとともに、次年度への改善に役立てている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

職員においては、教務部教務課の中に特色化係を設置し国際交流と地域交流に分け、ユネスコスクール活動担当の分掌を置いている。また他の分掌においてもユネスコスクール活動担当教員を配置し、各分掌間の協力を推進している。生徒においては、ユネスコスクール委員会とユネスコ部を設けている。ユネスコスクール委員会では、各クラス2名ずつ委員を募り、本校ユネスコスクール活動の企画・運営を担っている。ユネスコ部では、地域でのボランティア活動や文化祭に向けた研究発表を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評議委員会と学校評価委員会において、年間指導計画案と年間指導計画の反省を提出し、評価を行っている。本年度の成果としては、国際交流の機会を充実させたことである。夏季休業中のオーストラリア海外派遣研修や2年次で行うマレーシア・シンガポールへの海外修学旅行では、多数の生徒が参加し、異文化への敬意と理解を深めることができた。今後は、海外研修はもちろん、校内での活動を増やし、国際交流、地域交流を進めていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

月刊の広報新聞「634ニュース」を毎月校区内外の中学校に配布・掲示し、中学生や地域保護者への広報を推進している。校内においては、PTA 広報誌「天拝」を適宜発行し、全校生徒と保護者への活動成果の発信を行っている。また本校 HP においてもユネスコスクール活動報告を随時行っている。その成果として、国際交流に関心を持ち、入学を希望する生徒が年々増加している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

生徒会や部活動を中心に地域との交流を図っている。主な活動としては、吹奏楽部による招待演奏（5月：武蔵寺藤まつり、8月：天拝坂地区夏祭り、11月：天拝坂地区文化祭）や各運動部による校区清掃活動、生徒会やユネスコ委員会による募金活動やボランティア活動である。また29年度は、外国語専門学校の留学生との異文化交流会を実施し、英語でのディスカッションを通して意見を交換した。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

前年度は福岡県立城南高等学校との学校間交流を行っていたが、本年度は両校のスケジュールを合わせることができず、残念ながら実施することができなかった。そのため来年度では、この学校間交流を必ず実施できるよう、両校の連絡を密に取り合い、企画していきたい。また、その他のユネスコスクールとのネットワークを形成できるよう、各分掌や担当職員を中心に動いていきたい。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校と天拝小学校および地域で定期的な情報交換会や講演会、天拝山登山および挨拶運動など、様々な活動を継続して実施している。これらの活動を通じて、地域社会と学校の連携・協力が相互に得られやすくなっており、子どもの教育活動にも街づくりにも良い環境が維持されている。今後も協働活動を継続実施していくことで、地域の子どもを地域で育てる街づくりの一助としていきたいと考える。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

本校では、総合的な学習の時間を軸として地域歴史文化理解、異文化理解をさらに深めるよう、内容をブラッシュアップして来年度も今年度同様の取組を実施する。また、17の持続可能な開発目標（SDGs）のうち特に以下の4つを本校のユネスコスクール活動における重点目標として据えることとする。「4. 質の高い教育をみんなに」、「16. 平和と公正をすべての人に」については、服のチカラプロジェクトおよび、世界寺子屋運動への参加と活動内容の充実を通じての生徒の知見を広めることを目指す。「5. ジェンダー平等を実現しよう」については、平成30年度より男女混合名簿を導入する運びとなる。「11. 住み続けられるまちづくりを」では、地域歴史文化教育事業の充実、天拝小学校や地域社会との連携および協働を継続する。さらに、平成30年度から本校のグランドデザイン（ブランドイメージ）を作成し、その中心となる活動としてユネスコスクールを位置付ける。